主な研修科目

1 国民全体の奉仕者としての使命と職責について考える

公務員の在り方

各府省の事務次官等から、自らの経験に基づいた行政官としての心構えに関する話を聞き、国家公務員としての在り方について考えます。

公務員倫理を考える

班別討議方式による事例研究などを通じて倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機づけを図ります。

人　権

人権問題に関わる講義を聞き、我が国が抱える人権問題の現状を認識するとともに、基本的人権に対する意識を高める。（一部コースでは、VRを活用した体験型研修も行っています。）

2 公共政策の在り方を多角的に検証し考える

行政政策事例研究

歴史的意義の大きい過去の行政事例を題材とする講義や討議を通じて、行政官としてとるべき行動について多角的視点から考えます。

- **基調講義**　当時の担当者等による事例に関する講義、課題の提示
- **班別討議**　班別に分かれ、課題検討・討議、報告書作成、発表準備
- **全体討議**　各班より討議結果の発表、講師より講評

（実施テーマ）消費税導入／長良川河口堰建設／東日本大震災事例／福島復興事例など

政策課題研究

研究テーマごとに設定された今日的な課題について、班ごとの調査研究、議論、具体的な政策提言のとりまとめ、発表を通じて、府省の枠を超えて、課題認識や政策立案を行うことの重要性を認識するとともに、問題発見能力、問題解決能力、表現力等行政官として求められる資質の向上を目指します。

（実施テーマ）社会保障／外交／貧困問題／ SDGs ／AI・社会のデジタル化／EBPM ／外国人との共生など

個別政策研究

各研修員が所属組織の政策課題について発表し、討議するケース・スタディです。

事前準備 → **発表・討議** → **報告書の作成・提出**

- 事前準備：発表テーマの選定、プレゼンテーションの準備
- 発表・討議：5～10名程度のグループの中で発表、質疑応答・討議
- 報告書の作成・提出：討議結果の整理、報告書の作成提出

3 公正な公務運営について学ぶ

リーダーシップの在り方と実践

リーダーシップの在り方やその実践的な取組方法について、行政官OB、企業経営者、NPO団体の主宰者、研究者等から講義・討議・演習などを行います。

ファシリテーションコミュニケーション

問題解決・合意形成のスキル、職場における上司や同僚等との円滑なコミュニケーション手法についての講義・演習を行います。

マネジメント研究

各研修員がマネジメントに関して抱えている課題を持ち寄り討議を行い、管理者の果たすべき役割、解決すべき問題に関する認識を深めます。

4 体験を通して使命と職責、公共政策の在り方、公正な公務運営について考える

現場訪問、現場学習

政策の最前線である現場の視察、企業経営者、自治体関係者や地域の方々との意見交換や対話を通じ、行政の果たすべき役割、行政官としての自身の在り方について考えを深めます。

地方自治体実地体験等

- 1グループ3～4人の研修員が、市町村で窓口業務、ゴミ収集などの自治体業務や農作業などを体験します。
- 自治体職員や住民との意見交換を通じて、地域の多様性、住民の意識やニーズなどについての認識を深めます。
- 一部の研修員は、NPO法人等で被災地復興・地方創生プログラムに取り組みます。

国際行政の現場

自衛官や開発援助に携わった関係者、国際機関で勤務する職員等から、国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく話を聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、国際協力の在り方や諸外国との関係等について認識を深めます。

外国政府職員との政策対話

諸外国の外交官、途上国から日本に留学している行政官に対し、各府省が取り組んでいる政策課題を英語で発表し、質疑・討議を行うことを通じ、各府省職員の英語での発信力の向上を図るとともに、日本と各国との相互理解を深める機会としています。

（課長補佐級国際コースで実施）